

# 公益財団法人京都市国際交流協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 千玄室

### 2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

### 3 電話番号

075-752-3010

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kcif.or.jp/>

### 5 設立年月日

平成元年1月18日

### 6 基本財産

100,000千円（うち本市出せん額 100,000千円，出せん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

総合企画局国際化推進室（TEL075-222-3072）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

千玄室

#### (2) 専務理事

山内清

#### (3) 理事

有田典代，小川伸彦，陳萍，高木壽一，高田光治，仲尾宏，浜田麻里，  
牧敬二（総合企画局国際化推進室長）

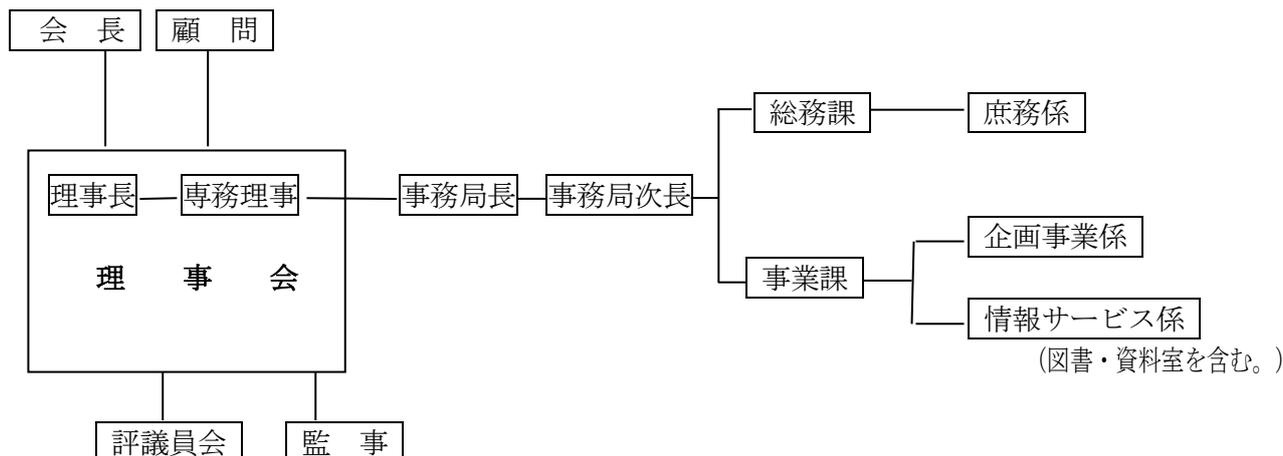
#### (4) 監事

中村健児，山本亘（総合企画局総合政策室長）

### 11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 28 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 市民への情報提供, 相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

##### イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク (kokoka 国際交流団体ねっと)
- (イ) 東日本大震災被災者支援事業
- (ウ) 企業等コラボ事業
- (エ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

##### ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) ボランティア活動育成事業
- (イ) 担い手育成事業
  - a 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
  - b インターン受入事業
  - c 社会見学受入事業
  - d 日本語教室開講に対する支援

##### エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等
  - a ロングステイセミナー 「ロングステイ人気! アジア上位国の比較」
  - b 「チョゴリときもの」シリーズⅡ 第24回 ～オールドカマーとニューカマー～  
(特別永住者としてのコリアンの歴史や現状に対する理解を深めるとともに, 日本の真の国際化, 豊かな共生社会の推進を考える連続フォーラム)
  - c フォーラム「チョゴリときもの」No.23 音声起稿  
(連続フォーラム「チョゴリときもの」の内容をPDFに取りまとめてWEBで公開し, 在日コリアンの歴史や現状への理解を促進)
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
  - a kokoka オープンデイ 2016～今から ここから あなたから～  
(京都市国際交流会館の存在を知っていただくことを目的に開催する国際交流イベント)
  - b 国際理解プログラム「PICNIK」
  - c 開発教育入門セミナー ～「足もと」と「世界」をつなぐ～

- d 子どもワールドフェスティバル
- e 世界の絵本展「世界はいろいろ ええやんか そのままで！」
- f KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
- g やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）
- h ほっこりBOOKカフェ（多文化共生社会の基本概念を広めるために、外国籍市民と日本人がお互いの意見を交換することで、多様なものの見方や考え方を知る事業）
- i 京都市国際文化市民交流促進サポート事業（京都市内の団体からの依頼に応じて、研修やイベントなどの各種催しに、外国にルーツを持つ方々を講師として派遣する事業）
- j 京都コリアフェスティバル 2016
- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
  - a 医療通訳派遣事業
  - b コリアンサロン「めあり」（朝鮮半島の歴史、文化の紹介や在日韓国・朝鮮人に対する理解を目指し、韓国民団京都府本部、朝鮮総連京都府本部、当協会の3団体が共同で実施する文化事業）
  - c 外国人のための住宅支援事業
  - d 健康フィエスタ Health Fiesta（外国籍市民を対象とする健康増進及び普及啓発事業）
  - e 外国籍市民コミュニケーション支援事業（行政通訳・相談事業、行政通訳相談員実務研修、京都市新生児訪問等通訳者派遣、選考試験、調査事業、検討会）
  - f 災害時における外国人支援（「地震・緊急時行動マニュアル」の発行、「京都市総合防災訓練」参加、「kokoka避難所宿泊訓練」実施、多言語便利情報（外国籍市民向けメールマガジン）、「京都府国民保護共同実働訓練」参加）
  - g 多文化コミュニティ協働事業 第3回グローバルセッション 「地域における多文化な『居場所づくり』を考える」
  - h 錦林東山学区民体育祭への参加
  - i グローバル婚活 koko コン
- オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業
  - (ア) 京都地域留学生交流推進協議会への参画
  - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
  - (ウ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
  - (エ) 留学生のための就職支援事業
  - (オ) 留学生優待プログラム
  - (カ) 外国人歓迎会
  - (キ) 来日直後留学生支援業務
- カ 広報・出版事業
  - (ア) 広報・出版関係（年報『Annual Report』の発行）
  - (イ) 広告関係
  - (ウ) 京都市避難所／広域避難場所 Map の配布
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
  - 「展示室リニューアルプロジェクト達成記念合同展覧会」実施
- ク 京都市国際交流会館の運営
  - (ア) 貸施設関係
  - (イ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
  - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
  - (エ) 岡崎魅力づくり推進協議会への参画
  - (オ) 「春！kokoka おもてなし広場」の実施（日本庭園を無料開放するとともに、夜間は建物のライトアップ等を実施）
- ケ 理事会等の開催

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,899	67,664	△13,765
未収金	2,783	2,842	△59
前払金	112	0	112
流動資産合計	[56,794]	[70,506]	[△13,712]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	67,154	63,645	3,509
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(167,154)	(163,645)	(3,509)
(その他固定資産)			
定期預金	2,100	2,099	0
投資有価証券	29,940	29,936	3
什器備品	136	210	△74
絵画等	9,700	9,700	0
その他固定資産合計	(41,876)	(41,946)	(△70)
固定資産合計	[309,030]	[305,591]	[3,439]
資産合計	365,823	376,097	△10,274
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,667	22,408	△20,742
預り金	988	1,046	△57
前受金	13,934	13,747	187
賞与引当金	8,166	8,596	△430
流動負債合計	[24,755]	[45,796]	[△21,042]
2. 固定負債			
退職給付引当金	78,629	71,651	6,978
固定負債合計	[78,629]	[71,651]	[6,978]
負債合計	103,384	117,448	△14,064
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	100,000	100,000	0
寄附金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[62,440]	[58,649]	[3,790]
正味財産合計	262,440	258,649	3,790
負債及び正味財産合計	365,823	376,097	△10,274

正味財産増減計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,262	1,262	0
特定資産運用益	4,571	2,963	1,608
事業収益	252,422	247,115	5,307
受取補助金等	16,164	15,945	219
受取寄附金	1,118	3,334	△2,216
雑収益	281	271	10
委託料収益	8,216	5,331	2,885
経常収益計	284,034	276,221	7,814
(2) 経常費用			
事業費	266,143	277,131	△10,988
管理費	14,101	15,941	△1,840
経常費用計	280,244	293,072	△12,828
当期経常増減額	3,790	△16,851	20,642
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,790	△16,851	20,642
一般正味財産期首残高	58,649	75,501	△16,851
一般正味財産期末残高	62,440	58,649	3,790
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	1,548	△1,548
一般正味財産への振替額	0	△1,548	1,548
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	262,440	258,649	3,790

## 2 平成 29 年度事業計画

### (1) 事業概要

#### ア 市民への情報提供, 相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) 図書・資料室の運営
- (ウ) 相談関連

#### イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク
- (イ) 共催事業・後援事業
- (ウ) 企業等コラボ事業
- (エ) 東日本大震災被災者支援事業

#### ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) 国際交流活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (イ) ボランティア活動育成事業
- (ウ) インターン受入事業
- (エ) 社会見学受入事業
- (オ) ボランティアによる日本語教室支援

#### エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解・多文化共生社会を促進するためのフォーラム・セミナー等  
フォーラム「チョゴリときもの」
- (イ) 異文化理解を促進するための交流活動
  - a kokoka オープンデイ
  - b 子どものための国際理解教育協働促進事業 国際理解プログラム「PICNIK」
  - c 開発教育入門セミナー
  - d 国際理解教材の貸出
  - e 京都市国際文化市民交流促進サポート事業
  - f 世界の絵本展
  - g 京都とつながる世界歴史都市絵本展（新規）
  - h KYOTO・ふれあい講座「はじめてのお茶」
  - i やさしい日本語（初心者向け日本語学習講座）

#### (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり

- a 医療通訳派遣事業
- b コリアンサロン「めあり」
- c 外国人のための住宅支援事業
- d 外国籍市民行政サービス利用等通訳・相談事業  
(新規) 10 周年記念事業（報告書作成, シンポジウム及び親子イベントの開催,  
ハンドブックの作成, 関係機関との連携会議の開催）
- e 災害時における外国籍市民支援（地震・緊急時行動マニュアルの発行, 避難所訓練の  
実施, 多言語便利情報の運営, 「京都市総合防災訓練」への参加）
- f 多文化コミュニティ協働事業
- g グローバル婚活 koko コン
- h 区民体育祭への参加

#### オ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業

- (ア) 京都地域留学生交流推進協議会への参画
- (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
- (ウ) 留学生就職支援事業
- (エ) 外国人歓迎会

- (オ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
- (カ) 留学生優待プログラム
- カ 広報, 出版, 広告事業
  - (ア) 広報, 出版関係
  - (イ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営
- ク 京都市国際交流会館の運営
  - (ア) 施設管理及び貸出施設の運営
  - (イ) 京都市国際交流会館の前庭の活用
  - (ウ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
  - (エ) 岡崎魅力づくり推進協議会への参画

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
特定資産運用益	4,200	4,200	0
事業収益	249,901	248,599	1,302
受取補助金等	20,000	20,960	△960
受取寄附金	3,013	3,013	0
委託料収益	7,016	8,216	△1,200
雑収益	202	202	0
経常収益計	286,332	287,190	△858
(2) 経常費用			
事業費	292,129	293,460	△1,331
管理費	14,223	12,894	1,329
経常費用計	306,352	306,354	△2
当期経常増減額	△20,020	△19,164	△856
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般財産増減額	△20,020	△19,164	△856
一般正味財産期首残高	56,845	57,548	△703
一般正味財産期末残高	36,825	38,384	△1,559
II. 指定正味財産増減額の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	236,825	238,384	△1,559

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	284,852	276,221	284,034	286,332
	当期経常増減額	5,357	△16,851	3,790	△20,020
	当期正味財産増減額	5,269	△16,851	3,790	△20,020
貸借対照表	総資産	374,932	376,097	365,823	
	総負債	99,431	117,448	103,384	
	正味財産	275,501	258,649	262,440	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 (指定管理)	203,392 (※1)	191,986 (※1)	191,986 (※1)	191,986 (※1)
	行政通訳・相談事業	2,470	2,470	2,470	
	平和祈念事業	515	515	515	
	留学生優待プログラム	1,646	1,646	1,531	
	国際文化市民交流促進サポート事業	300	300	300	
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,069	1,126	1,126	
	国際交流ボランティア促進事業 (平成28年度から日本語学習支援事業に名称変更)	200	200	200	
来日直後の留学生を支援する「ウェルカム・パッケージ」		200	3,200		
補助金	リユース食器利用促進助成金	100	116	124	2,000 (※2)
	京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業	11,789	11,509	10,964	13,000
	ボランティア活動育成事業			190	
	koko 婚	82		236	3,000 (※3)
その他	医療通訳派遣事業	4,200	4,319	4,550	4,700

※1 一部利用料金制

※2 ごみ減量推進課所管助成金の平成29年度予算総額

※3 男女共同参画推進課所管助成金の平成29年度予算総額

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成28年度は当期経常増減額が3,790千円の黒字となった。平成27年度は職員の退職金支払いなどによる特殊な条件があったため、当期経常増減額は16,851千円の赤字になっていたが、平成28年度及び平成26年度は黒字を計上しており、引き続きこの状況を継続していただきたい。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>平成27年度から積極的に始めた企業連携の件数がさらに増え、イベントへの参加者数の大幅な増加に繋げることができたことは大いに評価したい。</li><li>また、本市の取組と連携した世界歴史都市連盟加盟都市を対象にした絵本展を自主事業として開催するなど、公益性の高い取組を実施している点も評価できる。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>京都市国際交流会館における利用料収入の確保や、企業等との連携事業などによる自主事業収益の増加に加えて、経費節減もあり、当期一般正味財産増減額が黒字となった。</li><li>今後も自主事業の拡大に努め、収益基盤を多様化していく必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>積極的な事業展開による京都市国際交流会館への来場者増加の取組は評価できる。今後も魅力ある自主事業を展開し、施設の利用者を増やしていく必要がある。</li></ul>